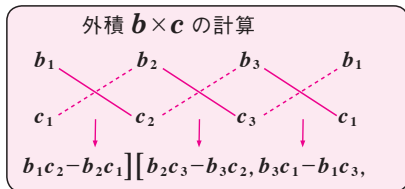


● スカラー3重積をもう1度考えよう！

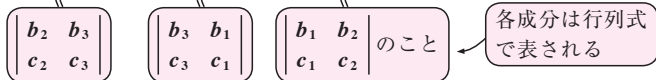
これまで行列式を学んだので、この行列式を利用すると、スカラー3重積(P16)をシンプルに表すことができるんだね。3つの3次元ベクトル

$$\mathbf{a} = [a_1 \ a_2 \ a_3], \mathbf{b} = [b_1 \ b_2 \ b_3], \mathbf{c} = [c_1 \ c_2 \ c_3] \text{ を使って,}$$

スカラー3重積は、 $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ と表されるんだね。そして、外積 $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ は右のように計算することによって、



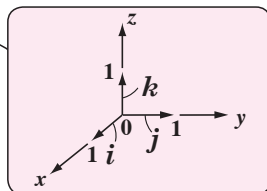
$$\mathbf{b} \times \mathbf{c} = [\underline{b_2c_3 - b_3c_2} \ \underline{b_3c_1 - b_1c_3} \ \underline{b_1c_2 - b_2c_1}] \quad \dots\dots \textcircled{1} \text{ と表される。}$$



ここで、 $\mathbf{i} = [1, 0, 0]$, $\mathbf{j} = [0, 1, 0]$, $\mathbf{k} = [0, 0, 1]$

とおくと、 $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ はさらに、①より

$$\mathbf{b} \times \mathbf{c} = (\underline{b_2c_3 - b_3c_2})\mathbf{i} + (\underline{b_3c_1 - b_1c_3})\mathbf{j} + (\underline{b_1c_2 - b_2c_1})\mathbf{k} \quad \dots\dots \textcircled{2}$$



と表されているのはいいね。すると、これは、行列式の表現法を利用して、形式的にはあるんだけど、次のように表すことができる。

$$\mathbf{b} \times \mathbf{c} = \begin{vmatrix} \mathbf{i} & \mathbf{j} & \mathbf{k} \\ b_1 & b_2 & b_3 \\ c_1 & c_2 & c_3 \end{vmatrix} \quad \leftarrow \text{第1行の各成分はベクトル} \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

もちろん、③の右辺の第1行の各成分は $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ とベクトルであるため、これは行列式と呼ぶことはできないけれど、③の右辺をサラスの公式を使って展開すると、②式が導かれることが分かるはずだ。

ここで、スカラー3重積 $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は \mathbf{a} と $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ の内積だから、これらの x 成分同士、 y 成分同士、 z 成分同士の積の和となるので、

$$\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = (\underline{b_2c_3 - b_3c_2})\underline{a_1} + (\underline{b_3c_1 - b_1c_3})\underline{a_2} + (\underline{b_1c_2 - b_2c_1})\underline{a_3} \quad \dots\dots \textcircled{4}$$

となり、④の $\underline{a_1}, \underline{a_2}, \underline{a_3}$ は②の $\underline{\mathbf{i}}, \underline{\mathbf{j}}, \underline{\mathbf{k}}$ を置き換えたものだから、このスカラー3重積 $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は、③の代わりに今度は本当の行列式として、次のようにシンプルに表されることになるんだね。

$$\text{スカラー3重積 } \mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = \begin{vmatrix} a_1 & a_2 & a_3 \\ b_1 & b_2 & b_3 \\ c_1 & c_2 & c_3 \end{vmatrix} \cdots \cdots (*1)$$

したがって、P17の例題 $\mathbf{a} = [1 \ -1 \ 2]$, $\mathbf{b} = [2 \ 1 \ 1]$, $\mathbf{c} = [1 \ -1 \ 3]$ のスカラー3重積 $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は、次のように計算できる。

$$\begin{aligned} \mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) &= \begin{vmatrix} 1 & -1 & 2 \\ 2 & 1 & 1 \\ 1 & -1 & 3 \end{vmatrix} \\ &= 1 \cdot 1 \cdot 3 + (-1) \cdot 1 \cdot 1 + 2 \cdot (-1) \cdot 2 - 2 \cdot 1 \cdot 1 - (-1) \cdot (-1) \cdot 3 - 2 \cdot (-1) \cdot (-1) \\ &= 3 - 1 - 4 - 2 + 1 + 6 = 3 \end{aligned}$$

サラスの公式通りだね

と、アッサリ求まるんだね。面白かった？

● ベクトル3重積 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ もマスターしよう！

同じく、3つの3次元ベクトル $\mathbf{a} = [a_1 \ a_2 \ a_3]$, $\mathbf{b} = [b_1 \ b_2 \ b_3]$, $\mathbf{c} = [c_1 \ c_2 \ c_3]$ を用いて、新たなベクトル $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ を定義できる。これを、“ベクトル3重積”と呼ぶ。これは、2つのベクトル \mathbf{a} と $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ の外積なので、当然ベクトルだね。

そして、図1(i)に示すように、 $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ は \mathbf{b} と \mathbf{c} の両方に直交するベクトルであり、さらに、図1(ii)に示すように、ベクトル3重積 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は \mathbf{a} と $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ の両方に直交するベクトルだね。ということは、ベクトル3重積 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は、

\mathbf{b} と \mathbf{c} の張る平面上のベクトルになるので、これは、

ここでは、 \mathbf{b} と \mathbf{c} は1次独立と考えよう！

\mathbf{b} と \mathbf{c} の1次結合で、次のように表せるはずだね。

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = k \cdot \mathbf{b} - l \cdot \mathbf{c} \quad (k, l: \text{定数係数})$$

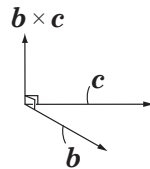
$\mathbf{a} \cdot \mathbf{c}$ $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$

そして、この定数係数 k, l は、実は $k = \mathbf{a} \cdot \mathbf{c}$, $l = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ と表せる。

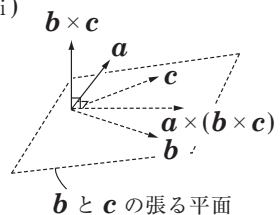
\mathbf{a} と \mathbf{c} の内積 \mathbf{a} と \mathbf{b} の内積

図1

ベクトル3重積 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$
(i)



(ii)



したがって、ベクトル3重積 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ について、次の公式

$$\text{ベクトル 3 重積 } \mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{c} \dots\dots\dots (*2)$$

が成り立つので、これも覚えておこう。

$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は、外積を 2 回も行わないといけないので、意外と計算がメンドウなんだけれど、(*2)の公式では、2つの内積と1次結合の計算だけなので、比較的楽に $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ を求められるんだね。

では、(*2)が成り立つことをここで証明しておこう。

$$\mathbf{a} = [a_1 \ a_2 \ a_3] \quad \mathbf{b} \times \mathbf{c} = [D_1 \ D_2 \ D_3] \quad \text{とおく。ただし}$$

$$\begin{cases} D_1 = \begin{vmatrix} b_2 & b_3 \\ c_2 & c_3 \end{vmatrix} = b_2c_3 - b_3c_2 \\ D_2 = \begin{vmatrix} b_3 & b_1 \\ c_3 & c_1 \end{vmatrix} = b_3c_1 - b_1c_3 \\ D_3 = \begin{vmatrix} b_1 & b_2 \\ c_1 & c_2 \end{vmatrix} = b_1c_2 - b_2c_1 \end{cases} \quad \text{である。}$$

外積計算

よって、ベクトル3重積 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = [a_2D_3 - a_3D_2 \quad a_3D_1 - a_1D_3 \quad a_1D_2 - a_2D_1] \text{ だね。}$$

$$\begin{aligned} & a_2(\underline{b_1c_2 - b_2c_1}) - a_3(\underline{b_3c_1 - b_1c_3}) \\ &= (a_2c_2 + a_3c_3)\underline{b_1} - (a_2b_2 + a_3b_3)c_1 \\ & \quad \text{↑} \\ & \quad \text{b}_1 \text{と } c_1 \text{でまとめた} \\ &= (a_1c_1 + a_2c_2 + a_3c_3)b_1 \\ & \quad \text{↑} \\ & \quad -(a_1b_1 + a_2b_2 + a_3b_3)c_1 \\ & \quad \text{↑} \\ & \quad \text{a}_1b_1c_1 \text{をたした分、ひいた} \\ &= (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_1 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_1 \end{aligned}$$

同様に計算して
 $(\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_3 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_3$

同様に計算して
 $(\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_2$

これをまとめると、

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = [(\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_1 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_1 \quad (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_2 \quad (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_3 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_3]$$

$$= [(\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_1 \ (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_2 \ (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})b_3] - [(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_1 \ (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_2 \ (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})c_3]$$

$$= (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c}) [b_1 \ b_2 \ b_3] - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}) [c_1 \ c_2 \ c_3] \text{ となって}$$

定数項をくく
 り出した。

b

定数項をくく
 り出した。

c

公式 $\overset{\textcircled{1}}{\mathbf{a}} \times (\overset{\textcircled{2}}{\mathbf{b}} \times \mathbf{c}) = (\overset{\textcircled{1}}{\mathbf{a}} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\overset{\textcircled{2}}{\mathbf{a}} \cdot \mathbf{b})\mathbf{c}$ (*2) が導けるんだね。

では、先程の例題の 3 つのベクトル

$\mathbf{a} = [1, -1, 2]$, $\mathbf{b} = [2, 1, 1]$, $\mathbf{c} = [1, -1, 3]$ を使って、ベクトル 3 重積 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ を求めてみよう。まず、2 つの係数を求めると

$$\begin{cases} \mathbf{a} \cdot \mathbf{c} = 1 \cdot 1 + (-1) \cdot (-1) + 2 \cdot 3 = 1 + 1 + 6 = 8 \\ \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 1 \cdot 2 + (-1) \cdot 1 + 2 \cdot 1 = 2 - 1 + 2 = 3 \end{cases} \text{ となる。}$$

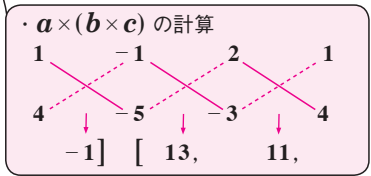
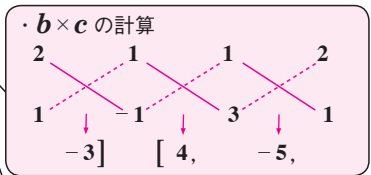
よって、

$$\begin{aligned} \mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) &= \underbrace{8}_{\mathbf{a} \cdot \mathbf{c}} \mathbf{b} - \underbrace{3}_{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}} \mathbf{c} = 8[2 \ 1 \ 1] - 3[1 \ -1 \ 3] \\ &= [16 \ 8 \ 8] - [3 \ -3 \ 9] \\ &= [13 \ 11 \ -1] \text{ となって、答えだ。} \end{aligned}$$

ちなみに、これを直接外積計算から求めると

$$\begin{aligned} \cdot \mathbf{b} \times \mathbf{c} &= [4 \ -5 \ -3] \\ \cdot \mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) &= [13 \ 11 \ -1] \end{aligned}$$

となって、同じ結果が導けるんだね。



ここで、ベクトル 3 重積について、一般的に結合の法則は成り立たない。

つまり、 $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \neq (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c}$

であることも覚えておこう。そして

$(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c}$ についても (*2) と同様の公式を導いてみよう。

$$\begin{aligned} (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c} &= -\mathbf{c} \times (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \leftarrow \text{公式 } \mathbf{x} \times \mathbf{y} = -\mathbf{y} \times \mathbf{x} \\ &= -\{(\mathbf{c} \cdot \mathbf{b})\mathbf{a} - (\mathbf{c} \cdot \mathbf{a})\mathbf{b}\} = (\mathbf{c} \cdot \mathbf{a})\mathbf{b} - (\mathbf{c} \cdot \mathbf{b})\mathbf{a} \end{aligned}$$

内積には、交換の法則が成り立つ

$\therefore (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c} = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})\mathbf{b} - (\mathbf{b} \cdot \mathbf{c})\mathbf{a}$ (*2)' が成り立つ。

これで、ベクトル 3 重積についても、その基本をご理解頂けたと思う。